

<b>科目名</b>	<b>創造演習</b>	<b>科目コード</b> 51010
------------	-------------	-----------------------

<b>学科名・学年</b>	環境都市工学科 2年	<b>担当教官</b>	田中 一浩 衛藤 俊彦 荒木 信夫		
<b>単位数</b>	2単位・必修	<b>開講期間</b>	前期	<b>時間数</b>	60時間
				<b>内訳</b> (時間)	講義(24), 演習(4) 実験(0), その他(2)
<b>教科書</b>	奥村敏恵・著「土木製図 改訂版」実教出版その他は適宜資料を配付する				
<b>補助教材</b>					
<b>参考書</b>					

<b>A 科目の概要</b>	
<p>報告書や論文を書くことに正解はありません。プレゼンテーションのやり方にも正解はありません。個人が創意工夫して自分の意図することを表現します。いわゆる創造的な作業です。創造的な力をつけるためには、考える、自分の考えたことを伝える必要があります。創造演習では、設計図面を読みとって構造物の形をイメージする、都市公園を設計してそのコンセプトを説明する、環境問題についてweb上で調査しプレゼンテーションする、自分の考えを分かりやすい文章で表現する、といった基礎能力について学習します。</p>	
<b>B 到達目標</b>	
<p>「図面を読む・書く」(田中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面の理解(読図)力を身につけ、実際に図面を描けるようになる</li> </ul> <p>「都市公園を設計する」(衛藤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理想の都市公園を考え、そのコンセプトを図面とスケッチでまとめて発表する</li> </ul> <p>「プレゼンテーション」(荒木)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ・ PowerPoint を使って分かりやすいプレゼンテーションができるようになる</li> </ul> <p>「レポートを書く」(荒木)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分かりやすい文章を書く。自分の書いた文章を自分で校正できるようになる</li> </ul>	
<b>C 長岡高専の学習・教育目標との対応</b>	(D)
<b>D 履修上の注意</b>	
<p>高専の多くの授業では、同じ答えがでる問題を対象にします。創造演習では各々が工夫しながら、それぞれが異なった結果となる作業を行います。正解はありません。文章を書くことも、プレゼンテーションすることも創造的な作業です。</p>	
<b>E 評価方法</b>	
<p>図面の理解(読図)力を身につけ、実際に図面を描けるようになる(25%)</p> <p>理想の都市公園を考え、そのコンセプトを図面とスケッチでまとめて発表する(25%)</p> <p>PowerPoint を使って分かりやすいプレゼンテーションができるようになる(25%)</p>	

分かりやすい文章を書く。自分の書いた文章を自分で校正できるようになる(25%)  
課題提出物(レポート、図面)、プレゼンテーション、授業に取り組む態度(発言(+)、質問(+)、居眠り(-)、私語(-)等)から評価する。

**F 授業計画・内容**

週	内 容	備 考
1	製図の文字と線	担当：田中
2	読図写図基本 1	
3	読図写図基本 2	
4	読図写図基本 3	
5	写図応用 1	
6	写図応用 2	
7	写図応用 3	
8	写図応用 4	
9	都市公園の現状と課題の説明	担当：衛藤
10	都市公園にとって重要な事項	
11	グループ活動(公園の設計とスケッチ作成)	
12	グループ活動(公園の設計とスケッチ作成)	
13	グループ活動(公園の設計とスケッチ作成)	
14	都市公園の設計趣旨の説明と相互評価	
15	学習目標の自己点検	
16	プレゼンテーションの目的、方法	担当：荒木
17	プレゼンテーションツールの使い方	
18	課題説明とインターネット調査	
19	インターネット調査とプレゼンツール作成	
20	インターネット調査とプレゼンツール作成	
21	調査結果のプレゼンテーションと相互評価	
22	調査結果のプレゼンテーションと相互評価	
23	技術者にとって表現する仕事とは？	
24	作文	
25	分かりやすい文章と分かりづらい文章	
26	文章の校正の方法 1	
27	文章の校正の方法 2	
28	文章の校正	
29	調査結果のプレゼンテーション	

30	学習目標の自己点検	
----	-----------	--